

## 郵政民営化委員会（第251回）議事要旨

日 時：令和4年8月22日（月）13:34～14:51

場 所：w e b形式にて開催

出席者：山内委員長、関口委員長代理、青野委員、佐藤委員、関委員  
（敬称略）

日本郵政株式会社 浅井常務執行役、風祭執行役経営企画部長

日本郵便株式会社 田中執行役員、目黒執行役員経営企画部長

株式会社ゆうちょ銀行 小藤田専務執行役、新村常務執行役

株式会社かんぽ生命保険 宮澤常務執行役、宍戸執行役員経営企画部長

### 1. 議事

- ・日本郵政グループの2023年3月期第1四半期決算等について
- ・日本郵便株式会社の業務区分別収支及び郵便事業の収支の状況等について

### 2. 委員会での説明・意見等

#### ○ 日本郵政グループの2023年3月期第1四半期決算等について

① 資料に基づき日本郵政グループより説明。【資料251-1-1～5】

② 委員からの意見等

- ・ 会計基準が新しくなり、プライベートエクイティファンドの評価損益について、時価評価をすることになったが、評価損益の変動が大きいことに驚いている。
- ・ 見るべきなのは、基礎収支や長期トレンドであり、目先のアップダウンに左右されずに大局的な経営をするべきではないか。特に会計基準が変わったことによって損益が大きく変わるということが、経営の方針に影響するというのは適切ではない。

（⇒（ゆうちょ銀行）投資からのリターンで収益を上げている会社であり、経営資本の範囲内でリスクリターンを十分に考慮して投資運用している。変動が大きい市場環境下、投資適格債よりリスクの高いハイールド領域は、リスクリターンが見合わないので、慎重対応中。マーケットが不安定な中ではあるが、評価損益にも留意しながら、最終収益を確保できるよう適切にリスクテイクしながら経営している。）

#### ○ 日本郵便株式会社の業務区分別収支及び郵便事業の収支の状況等について

① 資料に基づき日本郵便より説明。【資料251-2-1～2】

② 委員からの意見等

- ・ デジタル化による郵便の減少に伴い、中期経営計画においてビジネスモデルを変えていくという認識と方向性を出されているが、具体的な進展について教えてほしい。

（⇒（日本郵便）郵便から荷物へシフトするというのが中期経営計画における基本的な方針。これを実現するために、BtoBの契約を拡大していくとともに、ロジスティクスに注力していきたい。具体的にはロジスティクス事業部を立ち上げ、人員も割きながら業務に当たっている。）

－以上－

注）議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。